

## 厚生労働科学研究費補助金による測定結果

検査機関：(独)放射線医学総合研究所(<sup>90</sup>Sr：(財)九州環境管理協会)

検体採取日：平成23年6月21日(冷凍保管試料)

検体採取場所：福島県小名浜沖(北緯37度、東経141度付近)水深120～300m

分析方法：文部科学省 放射能測定法シリーズに記載の方法に準拠

魚種 \ 核種	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>110m</sup> Ag	<sup>239+240</sup> Pu	<sup>90</sup> Sr*
	Bq/kg	Bq/kg	Bq/kg	mBq/kg	mBq/kg
カタクチイワシ	10.1	10.8	0.3	0.003	—
マダラ	27.5	30.2	0.2	0.019	<30
エゾイソアイナメ	30.5	33.4	0.2	—	<30
アカガレイ	63.3	68.8	0.1	0.008	<30
ミキガレイ	13.2	14.1	0.8	—	<30
スルメイカ	10.6	11.5	24.9	0.003	—
ダンゴイカ類	5.4	5.7	37.6	—	—
ズワイガニ	7.2	7.8	3.4	0.003	—

\* <sup>90</sup>Srは、魚類のアラ部(筋肉と内臓を取り除いた頭部や骨等)について分析。

これらの測定は、新基準値設定のための調査目的で平成23年度厚生労働科学研究費補助金「食品の放射性物質に関する規制値についての研究」(主任研究者：明石真言)により実施されたものであり、平成23年12月22日の薬事・食品衛生審議会放射性物質対策部会 資料1別冊「食品の基準値の導出について」及び平成24年2月24日の薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会において報告されているもの。暫定規制値の定めのある核種(放射性セシウム・プルトニウム)は暫定規制値未満であり、また放射性銀の摂取による線量については、薬事・食品衛生審議会の放射性物質対策部会で検討がなされている。

(<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000001w5ek-att/2r9852000001w5t2.pdf>)